



○ 6/11 (日) 9:30~12:30 常総生協第44回総代会 傍聴、大歓迎!



○ 午後2時から講演会 「私たちの食と遺伝子組み換え」



を開催します。

講師：印鑰（いんやく）智哉さん
（日本の種子（タネ）を守る会、前オルタートレードジャパン）

ぜひ知人、友人お誘いあわせておいで下さい。

総代会傍聴・講演会参加申込は裏面2ページの「申込用紙」にて。

会場は取手駅から徒歩5分、「取手ウェルネスプラザ」です。



【2017年5月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
5.17 (水) 第13回理事会(臨時) 総代会議案確認	5.20 (土) 東海第二原発再稼働問題学習会(ひたちなか)
5.22 (月) 第44回常総生協総代会議案書配布開始	5.22 (月) 業社会合同産地視察、業社会役員会
5.27 (土) 都留さんの歴史講座、稲葉先生の料理講習会	5.25 (木) 東海第二原発訴訟弁護団会議(東京)
5.27 (土) めぐみちゃん実験田田植え	5.28 (日) 関東子ども基金甲状腺検診(日立市)
5.31 (水) 第14回理事会 総代会運営確認	5.27 (土) 小川仙月さん原発講演会
	5.28-29 (日・月) 福島有機農業猫の手応援隊

6/11 (日) 講演会 「私たちの食と遺伝子組み換え」

ベトナムで使われた枯葉剤 (2,4-D) 耐性の遺伝子組み換え大豆が日本に入ってくる？
消費者庁での遺伝子組み換え「表示義務」の見直し議論の注視とアクションを！

私たちの食と健康を守るために地域の生産者とどのような協同の取り組みをすすめるか！

印鑰智哉 (いんやくともや) さん講演会

「私たちの食と遺伝子組み換え」

日時：2017年6月11日(日) 午後2時～4時 会場：取手ウェルネスプラザ



- ❖ 遺伝子組み換え食品は食べてはいけない
- ❖ 遺伝子組み換え農業は米国政府や企業の努力むなしく、広がっていない。大きな限界に直面している。
- ❖ でも日本やアジアにはますます多くの遺伝子組み換えが
- ❖ 遺伝子組み換え農業は農家に利益を与えない
- ❖ 遺伝子組み換えなしで世界はやってける。

印鑰智哉 (いんやくともや) さん紹介

- 1986～91 アジア太平洋資料センター
- 1991～94 ブラジル社会経済分析研究所
- 1994 Frontier Internship in Mission Jenova
- 1997～01 JCA-Net 事務局長
- 2001～10 グリーンピース
- 2011～ オルター・トレード・ジャパン
- 2017～ 日本の種子(タネ)を守る会

●まず知る事。是非いらして下さい。

今回、講演をお願いした印鑰智哉さんは世界の遺伝子組み換え企業の動向や、オルタナティブとしてのエコロジエを中心に研究されている方です。現在は4月14日に廃止されてしまった主要農作物種子法の問題に現在専念するためにオルター・トレード・ジャパンの職からは4月から離れており、元農相の山田正彦さんとともに一般社団法人日本の種子(タネ)を守る会を作るための活動をしています。客観、情勢的に世の中の遺伝子組み換え食品の動向を学べる機会になります。是非、午後の部の講演会に多くの組合員、地域の方々、生産者も一緒に聞きに来てください。まずは原点に帰り、知る事。そこから、常総生協として生産者-組合員がつながったオリジナル溢れるものづくり、地域づくりを今年度一緒にしましょう!! (専務理事 伊藤)

今回お土産として、風土に根差した貴重なタネ「やさと在来種」=やさとの桑原さんが育てた大豆(やさと在来種)で作った納豆をお渡しする予定です。300パックしかできない貴重な大豆です。※その後商品としても掲載予定になっています。



電車のご利用をお願いします。会場の駐車場は60台のみ。周辺の駐車場は赤い場所です。

キリトリ

6/11 (日) 総代会傍聴 (AM)、講演会 (PM) 参加申込書

- (AM) 総代会の傍聴を申し込みます
 - (PM) 講演会に参加します。参加人数 _____ 人
- ※講演会にはお友達をぜひお誘いください

お名前 _____

組合員No. _____

コース名 _____

班名 _____

Tel _____

今週の商品 Navi (5月5回) 商品カタログ3ページ、16ページご紹介

カツオ一本釣りの「藁焼き」(3ページ)

カツオ刺身用・生きびなご、天然ブリ(16ページ)をはじめ

土佐から美味しい魚をお届けします!

土佐佐賀産直出荷組合(高知県黒潮町)



四国は高知から新しい生産者との取り組みが始まります。

「前浜に水揚げされる新鮮でおいしい魚を多くの人々の食卓に届けたい」

「生まれ育った地元を元気にしたい」土佐佐賀産直出荷組合



代表の浜町さん
と商品部丸山



スタッフは地元のお母さんたち。「家族に安心して食べさせられるもの」を基本に女性目線で、忙しい中でも「手間と時間をかけずにおいしい一品になるもの」を開発!

土佐佐賀産直出荷組合は高知県の南西部、土佐湾に面した小さな漁師町で昔から「鰹の一本釣り」で知られた黒潮町(旧佐賀町)で水産加工を営んでいます。代表の浜町さんの家は代々土佐佐賀の漁師で、水揚げがだんだんと減り、漁師の数も減っていく中で苦勞する家族の姿を見て育ちました。地元の水産加工会社に勤めましたが、経営不振で倒産。それでも「地元に残って地元の魚に関わる仕事をしたい」と平成16年に浜町さんが一人

で立ち上げました。魚のさばき方を学ぶところからの始まりで、「毎日が必死」の日々だったそうです。それでも浜町さんのお人柄なのでしょう、魚の加工技術、経営技術など回りからのアドバイスに助けられ、事業を前進させていきました。当時の経験もあつてのことだと思いますが、「人を大切に」ということを経営理念に上げられています。

現在のスタッフ11名のうち10名は地元のお母さ



34

土佐のわら焼き
かつおたたき





土佐 鈴漁港

んたちを中心に女性スタッフです。地元では親しみ込めて「さんちよく」と呼ばれています。浜町さんは過疎化が進む中、若い人たちにも水産業のやりがいを感じてもらって地元で働いてもらいたいと学校に出向いて学生と話したり、自分の会社に学生を招いて体験学習などの活動もされています。なかなか良い反応を示してくれる学生はいないとおっしゃっていましたが、諦めずに活動をしているそうです。また、「地元を元気」にするための取り組みでは「天日塩」など地元の産物と魚のコラボ商品などの開発も行っています。

「さんちよく」が扱う魚は地元前浜に水揚げされる魚です。小さな漁港ですので、水揚げの量は決して多くはなく量も安定しませんが、年間を通して多様な魚種が揚がります。工場から車で15分程の鈴漁港では「仲買い」の権利を持ち、漁師さんから直接「セリ」で魚をいただいています。水揚げされた魚はすぐに「さんちよく」の工場に運ばれ、魚の到着を待ち構えていたかのようなタイミングでスタッフの皆さんがすぐに加工し凍結されます。

現在は新しく作った工場で作業をしています。こじんまりしていますが、衛生面への配慮はもちろん機能的な作りが印象的でした。浜町さんに聞いてみると、コンサルタントに一から設計を任せるのではなく、前の工場での経験を通して働く人が働きやすいよう、思い描いていたアイデアを盛り込んでもらった設計にしたとの事です。また、玄関を入れてすぐ正面が加工場の中を見通せる広い窓になっており、「全てオープン」、あるいは「働く人が主役」といった感

じでした。他の水産加工工場では絶対にはない設備に「薫焼き専用ルーム」がありました。作業中ではもうもうと火があがり、全てて手作業で行うので体力的に一人が作業できる限界は2時間程度だそうです。また、品質には決して妥協しない姿勢としてHACCP認証の取得にもスタッフ一丸で取り組まれています。

また、素材の良さを活かして「家族に安心して食べさせられるもの」を基本にしながら女性目線で、忙しい人でも「手間と時間をかけずにおいしい一品になるもの」などもスタッフの皆さんがアイデアを出し合いながら、商品開発に当たっています。

今後、高知県の飛びきり新鮮な旬の美味しい魚が年間を通して届きます。関東では馴染みが少ない魚もあるかもしれませんが、ぜひお試しください。時には小さな漁港と「さんちよく」の小回りの良さを活かして「本当は少ししか獲れない美味しい魚で地元の人しか食べられないけれど、数量限定でこっそり紹介」なんて企画が出来ないかも相談していきたいと思います。どうぞ期待！

今回は3ページの「今週のイチオシ！」で「土佐のわら焼きかつおたたき」と「土佐の天然ぶり切身」、16ページで一挙12アイテムの紹介をしています。浜町さんから常総生協組合員へのメッセージも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

(商品部 丸山)



鈴漁港に水揚げされた魚たち

組合員、生産者、職員の広場

●供給担当の矢島さんへ



オススメのいわしダンゴ、みそ汁に入れてみました。
うちのおっさんにも好評でした。有難う。

(龍ヶ崎市 E.I さん)

●べにばな野草園のよもぎ水



べにばな野草園のよもぎ水を使っている息子(中3)が「この化粧水、ベタベタしないし、とにかくニキビがでなくなりました！なくなったら又、買ってね」とリクエストします。チョコやポテトチップを食べるとポツ、ポツ、とできるニキビ。食生活も見直してくれると嬉しいんだけどなあ。それができない息子のためによもぎ水さん、助けてください。

(牛久市 S.K さん)

●共謀罪について

「共謀罪」についての記事を読ませさせていただき、この

法律のその恐ろしい内容に「声を上げる」ことの大切さを痛感しました。歴史講座には、仕事の都合で参加できませんが、このように社会の動きに敏感に対応して下さる常総生協の会員であることを誇りに思います。「反戦」「脱原発」「沖縄での不当な基地建設反対！」これらは、どうしても守りたい私の信条です。いつもありがとうございます。

(石岡市 H.Y さん)

●特集0さんの文章

先週のニューズレター「憲法記念日」特集の0さんの文章、今の日本と世界の情勢を的確に明解にわかりやすく書いていただいて、本当にありがとうございます。

(土浦市 K.S さん)

●定期的にお願ひ!!

カジキマグロの生ハムが大変美味でした。定期的に取り扱っていただきたく思います。



(龍ヶ崎市 M.M さん)

皆の力が結集して！ 仲間づくりコラム (常勤理事 矢島)

4月は目標48名の仲間づくりに対して、47名です。おいしい！あと1名で達成というところでした。加入理由の内訳の4分の1は組合員さんからの紹介がきっかけでの加入です。

供給担当も毎月コースニュースを発行したり、イベントに参加してゲストさんに声を掛けたりと頑張っております。

地域の野外試食会に生産者も参加

先日のゴンタの丘試食会(つくば市内の公園で毎週木曜日の集まり)には水産でお世話になっている塩屋の石原社長が視察に顔をだしてくれました。今月か次月の月末試食会に商品持ち込みで来てくれるかも!? 組合員、職員、生産者のチカラが集まって仲間づくりが進んでいます。これからもよろしくお願ひします!



○仲間づくり実績

4月度	人数
加入 (+)	47
再開 (+)	17
休眠 (-)	27
脱退 (-)	21
純増	16

○地域別加入実績

市町村	加入
かすみがうら市	
つくばみらい市	1
つくば市	10
阿見町	
牛久市	2
坂東市	1
取手市	5
守谷市	
小美玉市	
常総市	
石岡市	
土浦市	1
利根町	
龍ヶ崎市	
印西市	
我孫子市	
野田市	2
松戸市	20
柏市	2
流山市	3
その他	
計	47

秋川牧園再開のお知らせ

常総生活協同組合
商品部

2月2回から供給を中止した「秋川牧園」の商品ですが、5月5日より供給を再開します。あらためて供給中止の経緯とその後の調査内容、常総生協としての判断についてご報告いたします。

- 2月3日に秋川牧園より商品の原材料の鶏肉の配合飼料の一部に遺伝子組み換え大豆（きな粉）の混入があったとの連絡がありました。飼料会社の伊藤忠飼料の自社定期検査で混入が確認され、秋川牧園へ報告がありました。秋川牧園から常総生協へは速やかに報告がありました。秋川牧園と協議の結果、混入の経路、時期、割合など伊藤忠飼料での調査結果が出るまで組合員への商品供給を見合わせることにしました。
- 4月5日に伊藤忠飼料の調査報告が秋川牧園よりありました。配合飼料に使用する大豆（きな粉）の製造元が複数あり、そのうちの1社で人的ミスがあり、遺伝子組み換え原料と非遺伝子組み換え原料を取り違えて使用してしまっ。2016年11月16日から2017年1月18日にかけて製造した配合飼料に混入。原料きな粉におけるGM大豆の平均混入率は4.99%、飼料全体にしめる割合は平均0.37%。
- 伊藤忠飼料からは今後の対策として、当該飼料会社の原料の購入停止、トウモロコシに比べて管理体制の甘かったきな粉の管理体制の強化、原料製造会社への定期訪問、自主検査による品質管理の強化の4項目が示されました。
- 秋川牧園としては、伊藤忠飼料から混入の経緯の報告と対策が示され、現在使用している飼料には混入が無いことが確認されていることから、伊藤忠飼料の配合飼料の継続使用を決めています。一方で秋川牧園では国産米を飼料の3割ほど使用するなど国内資源の活用にも力を入れています。一般的な冷凍食品では安価な製品を作るため、いかに安い原料を調達するかが競われ、鶏の飼料の安全性など顧みられることはありませんが、秋川牧園では「安心・安全」を重視した商品作りを実践しています。

常総生協としましては、混入があった事についてももちろん良しとはしませんが、「飼料会社の社内自主検査で混入が発見された」「検査結果が迅速に関係先に報告された」ことは飼料会社内でのチェック機構が機能した事を示している点、秋川牧園としても「混入率が極微量であるにも関わらず、速やかに報告を上げた」姿勢については評価に値すると思います。ただし、秋川牧園の配合飼料への遺伝子組み換え原料の混入は昨年1月のトウモロコシへの混入に続き2例目となるので、秋川牧園としても飼料会社の定期的な調査内容の報告を受けるとともに生協へも調査内容の状況共有を求めています。

また、今回の事例では飼料会社「自主検査」と秋川牧園の「迅速な報告」で混入の事実が確認されましたが、実は他の生産者の飼料についても同様の事態は起こり得ることと考えます。今回の事例を他の産地にも伝え、注意喚起を行っていきます。根本的な対策は遺伝子組み換えの心配の無い国内原料を飼料にすることです。また少しでも国内原料の使用比率を上げることもリスク低下につながります。こうした取り組みが少しずつでも進んでいけるよう、生産者と問題意識を共有していきたいと考えます。

日々の暮らしの処方箋

世界中に広がった放射能汚染の現実の中で
私たちはどうやって生命と健康を守っていけばいいのでしょうか
低線量内部被ばくに負けないためにどう暮らしたらいいのでしょうか

どなたでも
参加
できます

講師：児玉順一 内科医師

日時：6月18日(日) 開場 PM 2:00

講演 PM 2:30 ~ 4:30 (質疑応答含む)

会場：常総生協本部 2階 組合員活動室
(守谷市本町281)

参加費：500円 資料として「アヒンサー6号」と
「日本からの手紙講演録」を配布します

- ★ 託児サービスあります。事前にお申込みください。
- ★ 参加申し込みは、常総生協へ連絡をお願い致します。
常総生協 0297-48-4911(担当 やなぎまち)まで



< 児玉順一医師 プロフィール >

高校の社会科の教師から、群馬大学医学部入学・卒業。
埼玉医科大学勤務を経て、埼玉県ときがわ町でこだま医院開院。
内科の臨床に携わりながら、低線量被ばくの研究を続けられ、各地で講演をしておられます。2014年には常総生協で講演をして頂き、その時の講演録を「脱原発と暮らし見直し委員会 講演録チーム」で出版しました。

***** 著書紹介 *****

- 「A LETTER FROM JAPAN」日本からの手紙
- 「活性酸素とミトコンドリアの物語」
- 「レイチエル・カーソンの遺産」

常総生協で
出版・販売
しています

* 低線量被ばくがもたらす健康への影響がわかりやすく解説されています *

切り取り

6/18 講演会「日々の暮らしの処方箋」 参加申込書

氏名 _____ 連絡先 _____

コース名 _____ 班名 _____ 組合員番号 _____

同行者氏名 _____

託児希望 しない・する ⇒下段にお子さんのお名前(年齢)

申込締切 6/12(月)

児玉先生への質問

質問締切 6/2(金)